

フォトエッセイ # 87


家具工房 SOLIWOOD 第一日曜日の

木工教室寸景

かれこれ 23 年ほど前から
この教室に通っている
当初の仲間は 18 名
今でも 6 人が続けている
その後も気の合った仲間が増えて
月に一度の「ユートピア」です

2024.2.4

島田祥生


A craftsman with grey hair and glasses, wearing a red jacket with 'AKKKA' and 'SIBER' written on the sleeve, a white apron, and a white face mask, is seated on a folding chair in a workshop. He is focused on working with a piece of wood on a workbench. The workshop is filled with various tools, wood pieces, and materials. In the foreground, there are several stacks of finished wooden parts. The background shows a cluttered workshop environment with shelves and more tools.

扉の部品を作っている
100個ほど同じ部品を使うとか
端をちょっと斜めにするための治具を
作ってもらっていた

さあ、今日中に終わるか
一息も二息も入れたくなりそう

アサリ（切り口が広くなる歯の付け方）
のない鋸を使って端を斜めに切り落とす
そのあとは、カンナで仕上げ





きれいに仕上げるためには
カンナの切れ味が大切
頻繁に刃を研いでいます

23 年来の仲間
指先まで
堂に入っていると思いませんか
さすがです



こちらでは
額縁を作っています
端は、正確に 45° でなければ
突き当て部に隙間ができます

板厚方向も直角になるように
道具を使って
ものすごく神経を使います




う~~~~ん、真っ直ぐに切れていない
これでは隙間ができてみっともない

これは、カンナで仕上げます
カンナを使っても、真っ直ぐにならないよ、なぜ



これは、カンナの台が減っている
台を直さない
と真っ直ぐには削れないよ

カンナの台はシラカシという固い材でできているけれど
削る木と強くこすられているので
結構減りが速い

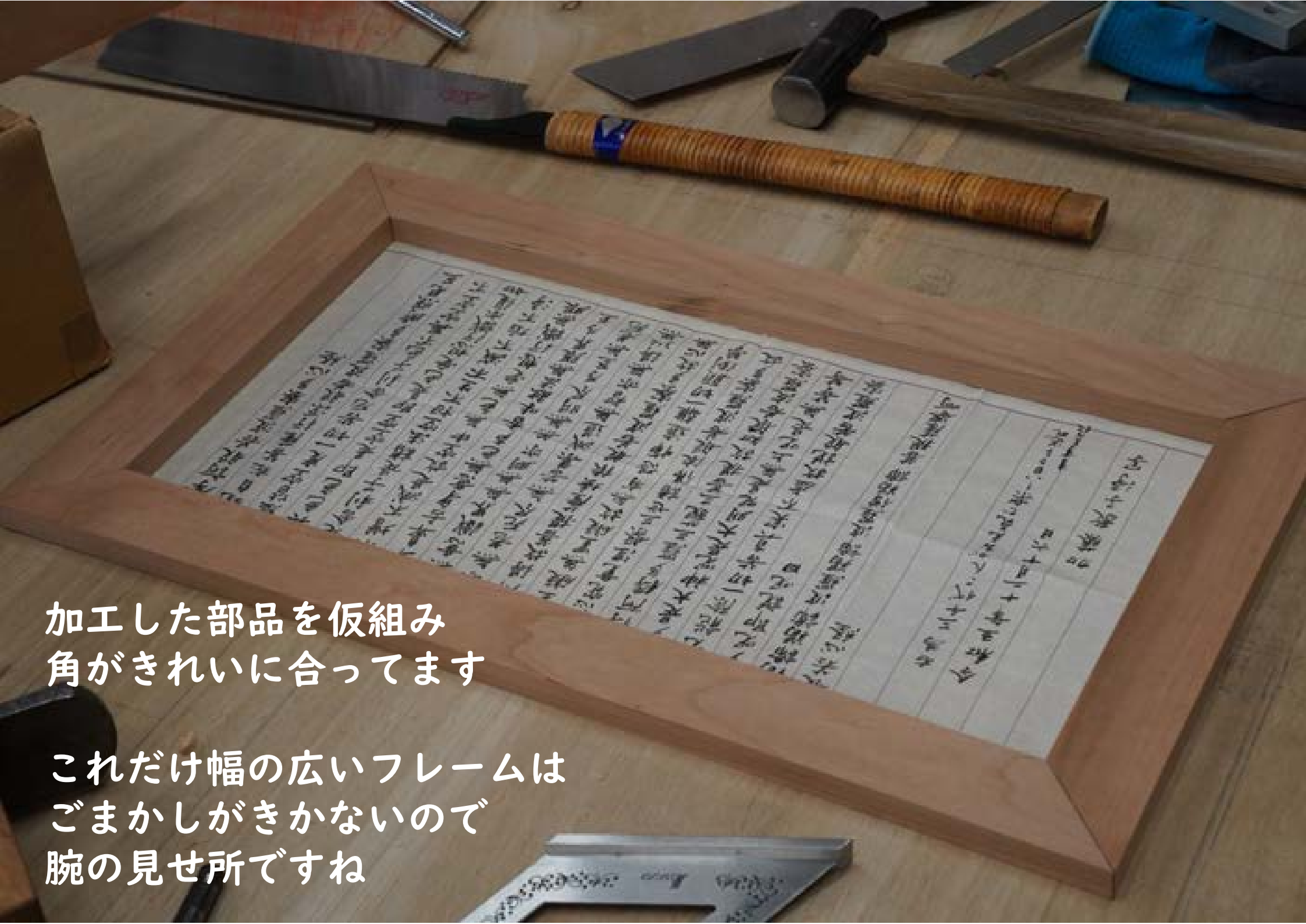


台削りカンナを使って
カンナの台を調整します

平面が出ている厚い硝子板に赤鉛筆を塗って
カンナの台をこすると赤鉛筆が移る
そのあたり具合を見て削っていく


ざっくりいうと
刃がでているところと
台の両端だけが赤くなるように削るといい

台の先は、ちょっと軽く当たるようにするのがコツ
簡単なように思えるでしょう
やってみてください。本当に簡単です




加工した部品を仮組み
角がきれいに合ってます

これだけ幅の広いフレームは
ごまかしがきかないので
腕の見せ所ですね




何やら教えてもらっている
知識・経験が豊富で、もちろん、腕は抜群
どんどん教えてもらおうといいですね

でもねえ
分からないことが分からないのですよね
そこまでくみ取ってもらえるといいのですが



ガリガリガリと粗削り
ノミやカンナだけでなく
こんな道具も使います

これ、やすり掛けの気分ですね


A man wearing a dark jacket, a light-colored cap, and a face mask is working on a wooden box. He is using a tool to adjust a clasp on the side of the box. A woman wearing a plaid jacket and a red and blue striped headscarf is leaning over the workbench, looking at the box. The workbench is made of dark wood and has several clamps and tools on it. The background is a light-colored wall with horizontal siding.

仮組まで来ました
う～～ん
ほぞが入り切っていない



ほぞ穴を広げています
ノミが切れないと
微妙な調整ができません

ここでも、研ぎが大切
うまく研げるようになるまで
ちょっと時間がかかりますが
そのあとは
ノミを使うのがなお楽しくなります



基礎コースの課題
花台の天板の加工
縦引きと横引き

鋸は、ガイドがないので
腕と感覚が頼り
気を抜く曲がっていきます




次の作品作りのため
毛引きでスミを入れています
この寸法精度が大切

時々
勘違いでスミ入れを間違えることが



スミ入れ後
合わせを確認
これをやらないと
あとで悲劇が

A woman wearing a white face mask and a colorful floral apron over a dark blue long-sleeved shirt is working on a wooden crate in a workshop. She is holding a wooden frame piece and appears to be fitting it into the crate. In the background, another person is working on a similar crate, and various workshop tools and equipment are visible.

月に一度ですとねえ
先月はどこまでやって、今日は何をするのか
なかなか思い出せないのです

これは完成間近
引き出しが沢山
最後の確認をしています

組立が終わって
塗装をしています

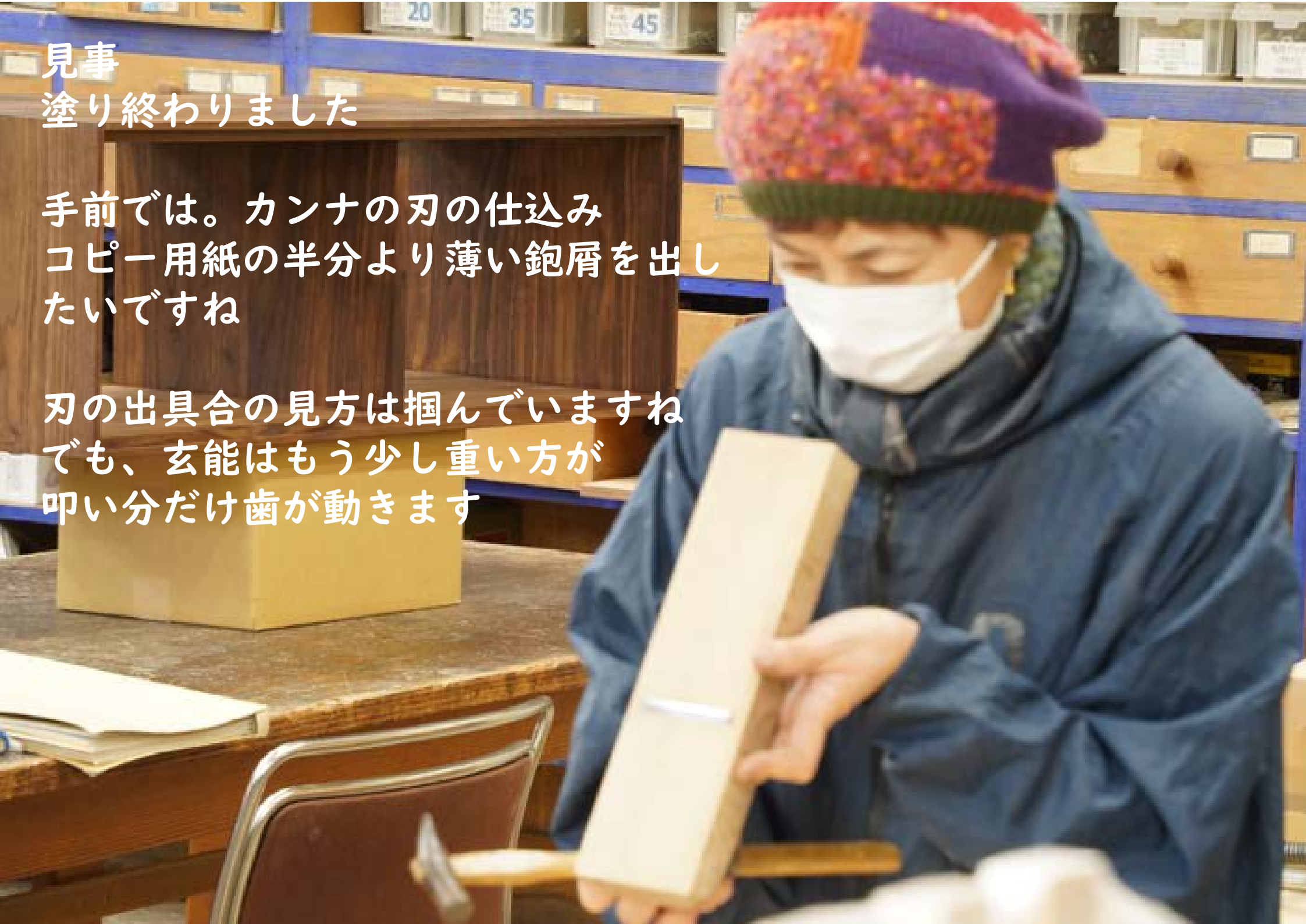
塗りむら、たれがあると後々まで
響きます
スタッフは、気が気ではない様子



見事
塗り終わりました

手前では。カンナの刃の仕込み
コピー用紙の半分より薄い鉋屑を出し
たいですね


刃の出具合の見方は掴んでいますね
でも、玄能はもう少し重い方が
叩い分だけ歯が動きます






調整を終えてカンナ掛け
いい鉋屑が出ています
ちょっと、幅が狭いかな

どうしたら
幅の広い鉋屑が出るか
自分で刃研ぎをしていくと
達成感が味わえますよね

A man with dark hair tied back in a ponytail, wearing a white face mask and a blue jacket, is focused on working on a wooden tool. He is holding the tool with both hands, and the background shows a workshop with various wooden items and tools. The lighting is bright, highlighting the man's concentration.

裏刃の調整がまた難しい
裏刃の先の見方が分からないのです
切り刃と裏刃は、髪の毛一本分

一所懸命見ていると
ある時急に见えてきます
スタッフにしつこく見方を聞くのがコツです



こちらでは何やら雑談
もう長い付き合いです

件のカナは別のスタッフの手に
見るに見かねてといった様子
自分で研げるようになるよう
刃を平らに研ぐコツを
しっかり聞き出してください

みなさ〜〜〜ん
コーヒブレイクですよ
お菓子が沢山
いつもありがとうございます





マシュマロを
あぶって食べるとおいしい
トロっとして本当に美味しいデス


クッキーもあぶるとおいしいよ
ホントかな



箱モノの組立
接着のため、播金で締めるのですが
その締め具合が微妙です



接着の作業が終わって
次の構想
この時は格別ですね



墨付けを始めました
何ができるのでしょうか



ほぞ穴にしては長い穴
ノミの使い方も
穴の底を丁寧に仕上げているみたい



テレビ台だそうです
本体は出来上がり
扉を塗装しているところです



扉の取り付け
蝶番のねじ止めに
3人がかり

何と言っても
曲がって取り付けは



完成しました
即、車に積み込み
いつもながら、いい仕上がりです



こちらは、組み立てが終わり
ウォールナットの色を変えたいと塗装
紫っぽい色が何とも言えない

二度目でなおきれいになるでしょう



この
「すきむらさき」という
名前が気に入ってのこととか



仕上げの塗装中
今回は
丸棒づくりに精を出しました



お昼寝用の
組み立て式ハンモック
安眠できるかどうか
寝てみなければ分かりません

A workshop filled with stacks of wood and a stone sink with a faucet. The background shows a wall with hanging tools. The text is overlaid on the image.

生徒さんの中には
「職人になるのではないから、出来上がればいい」
という考えの人もいます
それもあり。楽しめればいいのですね

折角本格的な木工ができるのだから
単に削るだけではなく、刃の仕込みも覚えたい
「その方が、もっともっと木工を楽しめそう」と
教室に期待している人もいます

とにかく、刃を研ぐ、カンナ台を直す
これにチャレンジする楽しさも
是非味わってもらいたいものです

この日は、教室のある相模湖駅に着く前から
ワクワクしています
短く感じる一日の始まりでした